

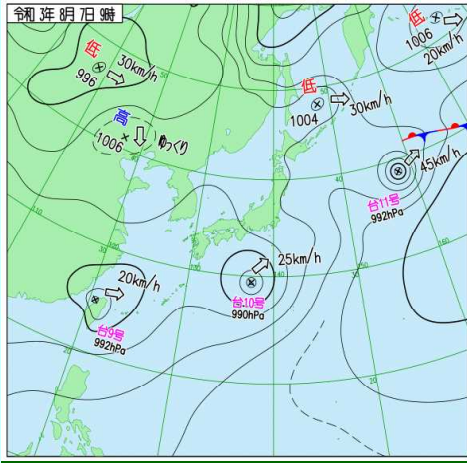


令和3年9月号



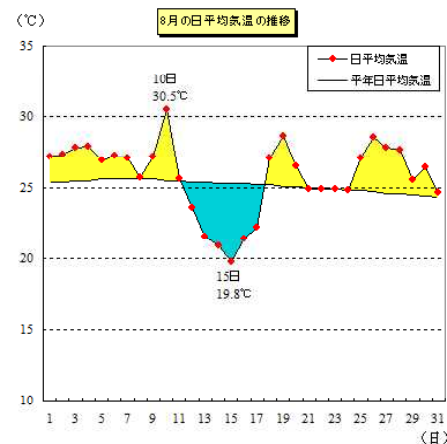
3つの台風

8月4日に台風第9号、5日に第10号、11号と、日本付近で次々と発生しました。日立市に直接影響する台風はありませんでしたが、10号は関東の南の海上を進み、9号は九州に上陸後、西日本を通り温帯低気圧に変わってから再度発達し、日本海から北日本を進みま



8月の気候

8月の月平均気温は25・8℃と平年並みの気温となりました。10日には歴代4番目に高い37・4℃を観測しましたが、15日の最高気温は21・6℃までしかあがらず、気温の変化は大きくなりました。台風や前線の影響で降水量も多く、月合計降水量は295ミリと平年の2・4倍でした。晴れや雨が周期的に変化したため、日照時間は181時間とほぼ平年並みとなりました。



1カ月予報 (気象庁発表)

9月は、はじめ前線や低気圧の影響を受けやすく、その後は数日の周期で天気が変わり、気温は「ほぼ平年並み」、降水量及び日照時間についても「ほぼ平年並み」の見込みです。

8月のお天気解説

8月はじめに台風第9号から変わった低気圧が発達しながら北日本を進みました。10日には、この低気圧に向かい、日立市では南西の風が吹いたため、山越えの乾燥した空気が入り、気温が高くなりました。この日の市役所での最高気温37・4℃は過去4番目に高い気温です。本山以外の観測所で35℃を上回り、特に、十王や北部観測所などの海沿いで気温が高くなりました。この低気圧が過ぎた後は、西から前線が進み、19日にかけて西日本を中心に前線が停滞し、南からの湿った空気が入り雨雲が発達して、大雨となりました。13日から14日にかけて、広島、福岡、佐賀、長崎では大雨特別警報が発表されました。日立市においては、13日から15日にかけてを中心に、11日から18日にかけての降水量は、市役所で159・0ミリ、十王交流センターで229・5ミリとなり、市役所での8月ひと月の平年の降水量(121・6ミリ)の約1・3倍の雨がこの1週間で降りました。

天気用語の基礎知識

注意報・警報

大雨や暴風などによって発生する災害の防止・軽減のために、市町村を範囲として気象庁から発表される、防災情報。16種類の注意報、7種類の警報のほか、6種類の特別警報があり、補足する情報として早期注意情報というものもある。気象庁以外の者が発表することはなく、警報については、気象庁以外の者が発表することは例外を除き禁止されている。

神峰の山から

このプリントの右上、題名の右下にいるキャラクターですが、「お天気侍」という、天気相談所オリジナルです。市役所の職員Sさんが6〜7年前に作成してくださいました。その後、表情ひとつ変えず、天気相談所と同じく地道に職責を果たしていたのですが、この度、市役所職員のKさんがいろいろな表情と動きを作ってくれました。そして、なんと、ケーブルテレビ行政放送番組デビューも果たしました。今後、お天気侍と天気相談所の進化に目が離せません

SさんとKさんのお二人には感謝しかありません。ありがとうございました。今後もよろしくお願いします。